

2017年7月13日

JASPA フェア推進委員長 齋藤光仁

JASPA フェア実行委員長 飯嶋隆人

2017年 JASPA フェア(5/18)の総括および報告

(1) 全体総括

① 企画・取り組み

全国の組合・会員企業の相互理解の機会創出に加え、「内から外へ」の発展を目指し、外部企業からの協賛スポンサー獲得ならびに CSAJ、JIET との 3 団体合同のビジネスマッチング会を企画・開催いたしました。さらに、日本IT連盟団体をフェア後援に迎え、幅広い人脈への集客を試みた結果、外部資金の獲得、来場者数拡大に成功しました。

② 来場者数

JASPA フェア史上最高となる入場者数を達成することができました。

一般来場者も増加し、さらに若い世代の方たちの参加も多く、新たな形での集客に大きな前進が見られました。

総来場者数 416名

内訳

JASPA(KT-NET 含) 239名

賛助会員 40名

一般来場者 137名

懇親会出席者 156名

③ 会場・プログラム

会場面では来場者数の増加に伴い手狭感がありましたが、活気あるフェアの印象に繋がったと感じます。

当日プログラム面では、各講演、企業展示、ビジネスマッチングを同時進行で行ないましたので、来場者の流れに課題を残しましたが、講演会場では立ち見客も出るなど各セッションにおいてますますの好評価をいただきました。

④ 収支

外部協賛スポンサー7社の獲得により全国組合協賛金の負担を軽減させることができ、全体的な収支も黒字で終わることができました。(※詳細は別紙)

(2) 課題・反省点

① 全国の組合に対する周知や理解促進が十分で無かった為に、地方の組合参加による地方活性化セッションの開催に至りませんでした。

② 外部スポンサー獲得の動き出しの遅れもあり、最終局面までバタついてしまったことと、獲得スポンサー数の伸び悩みがありました。

③ 広報・集客面においては、フェア構成内容の最終決定の遅れにより早い段階での集客

活動に着手できませんでした。

- ④ 会場面においては、講演会場、展示会場、ビジネス市場会場の誘導・導線が足りていなかった点があり、特にビジネス市場会場への足の運びが少なめでありました。

※参考資料

JASPA フェア実行委員会での自己評価・意見アンケート結果

(3) 2018 年 JASPA フェアに向けて

今回の成功を足掛かりとして更なる発展・成長を目指していきます。そのためには今回の課題・反省点をしっかり分析し、改善していくことが肝要であり、早い段階で推進委員会および実行委員会を立ち上げて、企画・準備を進めていくことが必要であります。

また、フェアのテーマやターゲット層をより明確することや、外部協賛スポンサーの獲得拡大に一層の努力を重ね、全国の JASPA 組合会員様にとって、より実のあるフェア実現に向けて進めて参りたいと思います。

最後に、

今回のフェア開催にあたり、多大なるご協力・ご理解を頂いた組合の方々、JASPA フェア推進委員、実行委員としてかかわって頂いた方々に、改めて感謝の意と御礼を申し上げます。推進委員、実行委員の各メンバーが試行錯誤の中で、このフェアを成功に導かせようと一人一人が非常に大きな責任感と団結、協力にて推進できたことも JASPA としての大きな成果であり、今後の各専任委員会も大きく成長して行くものと感じます。

以上